

平成 20 年度第 2 回伊達市地域公共交通活性化協議会 会議録

開催日時	平成 20 年 12 月 18 日(木) 午後 2 時 00 分～3 時 45 分
会場	伊達市役所 2 F 特別会議室
出席者（審議委員）	別紙「出席者名簿」のとおり
市側出席者	鈴木企画部長、齋藤企画調整課長 高橋副主幹兼政策調整係長、嶋原主査
その他の出席者	保原町商工会佐藤主幹 株式会社ケー・シー・エス東北支社 3 名
報道関係	福島民報社
傍聴者	なし
会議事項	1 開会 2 会長あいさつ 3 協議 (1) 道路運送法第 9 条第 4 項の協議について (2) 地域公共交通総合連携計画（素案）について (3) パブリックコメントの実施について 4 その他 5 閉会
会議の経過	別添のとおり
会議結果	1 協議事項(1)(3)については、原案どおり可決。 2 協議事項(2)地域公共交通総合連携計画（素案）に対する意見等を事務局が集約することとした。
特記事項	なし

第2回伊達市地域公共交通活性化協議会内容

発 言 者	発 言 内 容
司会 (高橋係長)	<p>【開会】</p> <p>それでは、ただ今から平成20年度第2回伊達市地域公共交通活性化協議会を開会いたします。</p> <p>本日は、お忙しいところ、ご出席を賜わり、誠にありがとうございます。</p> <p>本協議会は地域公共交通の活性化及び再生に関する法律により、原則公開とされていることから、会議は公開で行い、議事録等についても公表することになりますので、予めご了承頂きたいと存じます。</p> <p>まず始めに、当協議会の会長であります伊達市長仁志田昇司よりご挨拶を申し上げます。</p>
仁志田会長	<p>【会長あいさつ】</p> <p>本日は大変お忙しいなか、ご参集頂き厚くお礼申し上げます。</p> <p>伊達市も合併して3年目を終えようとしています。新たな施策を展開するとともに、昨年度策定した総合計画の進行管理に行政評価システムを導入するなど、より効率的で効果的な行政のしくみづくりを進めているところでありますが、今後さらに進む超高齢社会を想定し、現在の公共交通体系を見直し、各地域にあった交通手段を確保するため、皆様方のご協力を得て「地域公共交通総合連携計画」を策定し、公共交通の整備を図ってまいりたいと考えております。</p> <p>今般「地域公共交通総合連携計画」の素案を作成しましたので、ご審議のほどよろしく願い申し上げまして、簡単ではございますが挨拶とさせていただきます。</p>
司会	<p>【出欠状況】</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>本日欠席された委員の報告をさせていただきます。</p> <p>国土交通省東北運輸局福島運輸支局清野和也首席運輸企画専門官、月舘タクシー菅野午三委員、伊達市PTA連絡協議会会長</p>

<p>司会</p>	<p>菅野鉄也委員、伊達市連合婦人会会長大森瑛子委員が都合により欠席となっておりますので、ご報告いたします。</p> <p>【資料確認】</p> <p>それでは、本日配布させていただきました資料の確認をお願いいたします。</p> <p>協議会次第</p> <p>資料1 ほばらまちなかタクシーの概要</p> <p>資料2 のってみっカー運行許可申請の経緯</p> <p>伊達市地域公共交通総合連携計画（素案）</p> <p>次第には、協議会の規約と名簿を添付させていただきました。</p> <p>資料に不足はございませんでしょうか。</p>
<p>司会</p>	<p>議事進行にあたる議長につきましては、規約第10条第1項の規定により、会長の仁志田伊達市長に務めて頂きたいと思えます。</p> <p>それでは会長、よろしく願いいたします。</p>
<p>仁志田会長</p>	<p>【協議】</p> <p>それでは、議長を務めさせていただきます。各委員の皆様方のご協力のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>まずは、規約第10条第2項の規定によりまして、委員の過半数が出席していることから、会議が成立していることをご報告させていただきます。</p> <p>それでは、協議に入らせて頂きます。</p> <p>まず、(1)「道路運送法第9条第4項の協議」について事務局より説明をお願いします。</p>
<p>齋藤課長</p>	<p>協議が必要な経緯について説明</p>
<p>保原町商工会 佐藤主幹</p>	<p>資料1、資料2により説明</p>
<p>仁志田会長</p>	<p>ただ今の協議(1)「道路運送法第9条第4項の協議」について、ご質問・ご意見等がございましたら、挙手の上ご発言をお</p>

	<p>願います。</p> <p>【質問】</p> <p>のってみっカーの乗車回数と乗車人数の関係について説明願いたい。</p>
バス協会 菅崎委員	
保原町商工会 佐藤主幹	乗車回数は実際に乗った回数で、1人が2回乗れば2回とカウントしている。
連合婦人会 菅原委員	利用者から、のってみっカーの料金に対し、どのような意見が寄せられているか。
保原町商工会 佐藤委員	低料金なので、利用者の皆さんからは好評である。
福島河川国道 事務所 岩淵委員	車椅子での利用は可能か。
保原町商工会 佐藤主幹	乗合なので、基本的には自分で乗り降りできる方を対象にしている。補助者がいれば大丈夫な方は、補助者と同乗することは可能である。
霊山町 直江委員	利用登録者が、現在1万1千人とのことだが、増加しているのか。
保原町商工会 佐藤主幹	新規登録者は伸びていない状況、現登録者の90%は事業立ち上げ時の登録者である。
霊山町 直江委員	ここ3年、利用者が伸びていないようだが、その理由は何か。
保原町商工会 佐藤主幹	現在の利用者は高齢者が多く、亡くなるなど利用できなくなる方が出てきている。一方、新規利用者がなかなか増えず、利用者が横ばいとなっている。

<p>霊山町 直江委員</p>	<p>のってみっカーは決まった方が利用されているということか。</p>
<p>保原町商工会 佐藤主幹</p>	<p>そのように考えている。 若い方が利用されないと利用者数は伸びてこないと思う。</p>
<p>仁志田会長</p>	<p>伊達市は高齢社会であり、高齢者が益々増えるのだから、利用者は増えると思う。</p>
<p>社会福祉協議会 梅津委員</p>	<p>のってみっカーの収支バランスはどのようになっているか。</p>
<p>保原町商工会 佐藤主幹</p>	<p>収入は、料金収入が約 900 万円、市の補助が 1,300 万円、ほかに病院などからの広告料が約 200 万円あり、全体で約 2,400 万円。</p>
<p>保原町商工会 佐藤主幹</p>	<p>支出は、タクシー借上料が約 1,800 万円、そのほかに人件費、通信費などがあるが、赤字にはなっていない。</p>
<p>保原町商工会 佐藤委員</p>	<p>補助率は 53%と、ほかの自治体のデマンド型乗合タクシーと比べて、大変良い数字であると認識している。 初年度は赤字で、経営責任を取り、商工会で赤字分を補填したが、営業努力をして広告収入を上げるなど、経営を安定化させている。視察も毎月のように受け入れている。</p>
<p>仁志田会長</p>	<p>ほかにご質問等がないようですので、商工会提案のとおり、同意することにご異議ございませんか。</p> <p><異議なしの声有り></p>
<p>仁志田会長</p>	<p>ご異議がないようなので、原案に同意することとします。</p>
<p>仁志田会長</p>	<p>つづいて（２）「地域公共交通総合連携計画（素案）」について事務局より内容の説明をお願いします。</p>

齋藤課長	地域公共交通総合連携計画（素案）の説明 意見等については、12月中に事務局に提出するようにお願いした。
仁志田会長	ただ今の協議（2）「地域公共交通総合連携計画（素案）」について、ご質問、ご意見等がございましたら、挙手の上ご発言をお願いします。
保原町商工会 佐藤委員	<p>【意見】</p> <p>デマンド型乗合タクシーが、ばら色のように聞こえるが、「のってみっカー」を運営していてそうでもないと考えている。</p> <p>利用者の要望を聞きながら事業をしているが、事業をやるには経営責任がついてまわり、どこが責任を取るのかということになる。市役所は補助金を交付する立場で、責任を取る立場ではない。</p> <p>事業者は責任を取る立場だから、住民の要望を何でも聞くわけには行かない。経営感覚が必要になるし、利用者に我慢して頂く部分もある。</p> <p>事業を運営していくのは容易ではないことをご理解頂きたい。</p>
連合婦人会 小野委員	<p>2日間だけの調査でバスの利用状況を判断するのは適当ではないのではないかと。五十沢線は自分も利用しており、自宅周辺の21世帯中5世帯は必要としている。</p> <p>利用者の実感として、五十沢から終点まで乗っていて、途中から乗る人はいないので、調査区間についても問題がある。</p>
霊山町 直江委員	<p>試験運行中の霊山・月舘まちなかタクシーは、ほばらまちなかタクシー「のってみっカー」以上に大変厳しい状況である。一日の利用者が10月9人、11月12人と目標の35人に届いていない。</p> <p>その一因として、病院（診療所）の送迎バスがある。これはドアツードアで無料、しかも地区外にも行く。300円、500円の料金を払って、まちなかタクシーを利用する人はいるのだろうかという疑問で、10年かかっても定着することは難しいのではない</p>

<p>企画調整課長</p>	<p>かと思う。 利用券の無料配布をしたが、利用者の増加に結びついていない状況である。</p> <p>デマンド型乗合タクシーに対する課題と今後どのようにすべきかとの意見を、各委員から頂いて総合連携計画に反映させていきたいと考えている。そのようなご意見を頂戴したい。</p>
<p>バス協会 菅崎委員</p>	<p>のってみっカーの、一人当たりの補助額の記述があるが、県内の他のデマンド型乗合タクシーと比較して多いのか。</p>
<p>保原町商工会 佐藤委員</p>	<p>事業費の補助率は 53%と県内の他の事例と比べて低率であると思う。</p>
<p>仁志田会長</p>	<p>デマンド型乗合タクシーは、決して黒字になる事業ではないので、自治体がどの程度まで補助できるかということが課題であろう。</p>
<p>保原町 須永委員</p>	<p>霊山月舘地域は、保原地域のように病院と商店街がそろっていないので、構想は良いが、実行は難しいのではないかと思う。保原町商工会長さんが言うように、経営の視点でも考えないといけないのだろうと思う。</p>
<p>伊達市商工会 仲山委員代理</p>	<p>まちなかタクシーは、地域によって条件が違うので、運行形態も変える必要がある。</p> <p>霊山地域は病院が少なく、中心地に向かってきていないので、エリア分けをしても適当ではない。</p>
<p>自交総連 山崎委員</p>	<p>月舘地域では1エリアとしてコース分けもやめたので、利用者が増えてきている。</p> <p>全部が全部、保原方式に合わせることはいけないと考えている。</p> <p>公共交通利用者の利便性向上を目指して議論されていることは、大変素晴らしいことだと思うが、タクシー労働組合の立場からすれば、労働者の生活を守ることと会社経営の安定を第一</p>

<p>福島交通㈱ 鈴木委員</p>	<p>に考えなければならないと考えている。</p> <p>皆さんの話を聞いて、補助金が今後削減されてデマンド型乗合タクシーの経営に影響しないだろうかを感じる。</p> <p>公共交通の確保は大事だが、経営ということも考えなければならないと思う。のってみっカー乗車料金の 200 円、300 円は妥当なのだろうかと思う。</p> <p>経営をしっかりとやらないと、労働者へも影響すると考える。</p> <p>バス事業を 100 年やってきて、時代の移り変わりを実感している。</p> <p>デマンド型乗合タクシーが話題になっているが、制度で決まっていることについては、制度を尊重して頂きたい。</p> <p>また、デマンド型乗合タクシーは商工会さんが運営しているが、当社には交通事業者として長年のノウハウがあるので、これを活かせるようにして頂きたい。</p>
<p>吉岡副会長</p>	<p>色々な多角的なご意見が出てきまして、協議会としての機能を発揮していると感じている。</p> <p>デマンド型乗合タクシーについては、今回の議論のように色々な意見や考え方があるので、実証実験を行うということなのだと思う。</p> <p>デマンド型乗合タクシーの利用者は、半年間はなかなか増えないとのデータもありますので、半年間で色々な方策をとり、協議会では、大きな視点に立って議論されれば良いと思う。</p>
<p>仁志田会長</p>	<p>ほかにご質問等がないようですので、事務局が提示した素案について、今月中に事務局に意見の提出をお願いします。</p>
<p>仁志田会長</p>	<p>次に（3）「パブリックコメントの実施について」事務局より説明をお願いします。</p>
<p>齋藤課長</p>	<p>協議会として、伊達市広報誌やホームページなどで 12 月 25 日から 1 月 13 日の 20 日間意見の募集をしたいと考えている。</p>
<p>仁志田会長</p>	<p>ただいまの協議（3）「パブリックコメントの実施について」</p>

<p>仁志田会長</p>	<p>ご質問、ご意見等がございましたら、挙手の上ご発言をお願いします。</p> <p><質問・意見なし></p> <p>ご質問等がないようですので、協議会としてパブリックコメントを実施することに決定いたします。</p> <p>次に移らせて頂きます。</p> <p>せっかくの機会ですので、皆さんから何かございませんか？</p> <p><質問なし></p>
<p>仁志田会長</p>	<p>それでは、以上をもちまして、議事を終了させて頂きます。</p> <p>ご協力、ありがとうございました。</p>
<p>司会</p>	<p>【その他】</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>次のその他ですが、事務局より次回の会議についてのお知らせがあります。</p>
<p>齋藤課長</p>	<p>次回の会議は1月に予定しており、今回提案した計画案の決定と計画を策定した調査事業の評価を予定しておりますので、よろしく申し上げます。</p>
<p>司会</p>	<p>【閉会】</p> <p>それでは、これをもちまして、伊達市地域公共交通活性化協議会を閉会といたします。</p> <p>本日はありがとうございました。</p>

伊達市地域公共交通活性化協議会出席者名簿

組織区分名	委員職名	委員名	代理出席者
伊達市	市長 (会長)	仁志田 昇司	
ふくしま自治研修センター	教授 (副会長)	吉岡 正彦	
福島県県北地方振興局	県民環境部長	遠藤 義広	
伊達警察署	交通課長	久留飛 克典	
国土交通省東北地方整備局福島河川国道事務所	調査第二課長	岩渕 敦	
福島県保原土木事務所	所長	堀田 洋一	業務課長 渡辺 英吉
伊達市建設部	建設部長	松浦 裕行	
社団法人福島県バス協会	専務理事	菅崎 守雄	
福島交通株式会社	福島支社次長	鈴木 昭平	
東日本旅客鉄道株式会社	福島支店長	寺田 充	副支店長 市川 稔
阿武隈急行株式会社	代表取締役専務	尾形 憲一	
社団法人福島県タクシー協会	県北支部長	宍戸 清治	亀岡 整
有限会社丸和保原タクシー	代表取締役	寺島 剛	
有限会社ふくしま中央交通	支配人	高橋 好雄	
新達交通株式会社	代表取締役	引地 達雄	
伊達町町内会東地区連合会	会長 (監査員)	鈴木 益美	
梁川町自治組織連絡会	会長 (監査員)	八巻 康雄	
保原町町内会連合会	会長	須永 英次	
前霊山町新多目的交通システム運行委員会	副委員長	直江 市治	
前月舘町新多目的交通システム調査委員会	委員長	佐藤 満明	
伊達市連合婦人会	副会長	小野 洋子	
伊達市連合婦人会	副会長	菅井 ハルヨ	
伊達市社会福祉協議会	会長	梅津 義昭	
私鉄総連福島交通労働組合	福島支部支部長	三ノ輪 好昭	
自交総連福島地方連合会	執行委員長	山崎 良博	
伊達市商工会	会長	佐藤 勇	事務局長 仲山 正広
保原町商工会	会長	佐藤 晃司	
		計27名出席	